



今月のテーマ 『母子の健康月間』

第1473回例会

2017年4月20日 Vol.31 / No.37

■本日の例会 / 第1474回 平成29年4月27日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告…各委員長
- 会員卓話…新地康宏 会員、井上真由美会員

【出席率状況報告】

- ・会員数 ……53名
- ・出席者 ……36名
- ・欠席者 ……17名
- ・出席率 ……67.94%
- ・4 / 6の修正出席率…76.92%

■会長挨拶



会長 香川美穂子

桜も散りツツジの季節となりました。「宮崎は春と秋が無い」と聞きますが本当ですね。2～3日前は春をスキップして一挙に初夏を感じましたが、今日は一転して小雨降る寒い日となりました。本当に気候が読めなくなりました。

このところ気になっている事が例会出席率の低下です。出席委員長もご苦労なさっていると思いますが、年度変わりの3月4月のせいでしょうか、急に数字が悪くなった様に思います。ロータリアンの義務は3つありますね。会費を払う事、「ロータリーの友」を購読する事、そして何よりも大事な事は例会への出席です。なぜ出席をせねばならないかと言うと、もう皆さんよくご承知の通り毎週の例会に出ることによって異業種の方々と交流し、そこで自分を磨きかつ自分の仕事にそれを生かすことが望まれているからです。ただロータリアンは仕事をする方々のクラブですから仕事第一であるべきです。仕事の時間を犠牲にしてロータリーに集う事は本末転倒だと思います。前にも申しましたが「例会出席は義務では無く権利です」とある会合で発言なさった方がいて「なるほど！」と思いました。「出席は義務だ」とか「このクラブは出席率が良い」とか「悪い」とか、無欠席の年数を表彰したりとか、とかく数字に振り回され上から目線の感じもしますが、本来は本人が仕事の間に縫って楽しんで出席することが望まれると思います。だからこそ「権利です」との発言が出たのだと思います。そして仕事の関係でどうしても出席が叶わない時のためにメイクアップという制度があります。ただ他のクラブにメイクアップ出席するとそのクラブのやり様など良い経験にはなりますが、食費の支払いもかかって来ます。そ

の日の分は自分のクラブに払ってあるにも拘わらずです。主婦の感覚としましてはこの辺りも少々気になる所です。ですから自ずと「サインのみ」を探しますね。「親睦・交流」を謳っているロータリーとしてはこれも少し変なのですが・・・。なかなかスッキリいたしません。先週私は「一度お手元のクラブ活動計画書をご覧ください」と申しました。その理由はアンケート上で「会費が高い」と言う声が上がっているからです。が同じく活動計画書の「宮崎中央ロータリークラブ定款」の「会員身分の存続」の項もお読みください。その中の「連続欠席」と言うところに「連続4回例会に出席せず、またメイクアップもしていない場合は、クラブ理事会はその欠席がクラブ会員身分の終結を要請していると考えられる旨通知するものとする」と書かれています。ご本人は忙しくて「つつい」と言うこともありまじょうが、定款ではそうなっている事をご承知いただき、出席委員長が毎回お願いしていますがメイクアップにご協力お願いしたいと思います。なお例会は12時半から1時半までですが、SAAに許可を得れば40分出て退席なさっても出席とみなされますからこれも利用なされば、それこそその中で昼食をとりつつ例会にも出てすぐに仕事に復帰（通常のランチタイムと同じ位の所要時間）も可能かと思えます。それには例会場までの往復時間が一つの問題とはなりません。私はこの1年「気楽に出席できるクラブライフ」また「基本を守りつつ改良を厭わず」を申して来たつもりです。4月ももう少いで終わりです。私の任期もあと2ヶ月。私としてはソロソロ「纏め」と思っております。先日のアンケートの集計を来週皆さんにご報告するつもりです。

■ 幹事報告

幹事 江藤敏治



幹事報告です。4月23日に宮崎産業経営大学にて「全国一斉！国民討議会」が開催されます。また、先日宮崎中央ロータリー主催の会長幹事会がありました。その中で、素晴らしい言葉を頂戴したのでご紹介します。「ロータリーの最も大きな役割はどんな人材を育成したかにある」「誰かが始めなければ何も始まらない。誰が始めるか、その一人になろう！」

■ イニシエーションスピーチ 橋口 淳 会員  
奉仕の心



子どもの頃の夢は「学校の先生」になる事だったが、幼少時代より母子家庭に育ち、経済的にも苦しく大学進学は断念せざるを得なかった。それでも人と接することが好きでしたから、専門学校卒業後、長崎ハウステンボスの「ホテルヨーロッパ」でブライダルを担当を経験。その後宮崎に帰郷し、パチンコ店の老舗モナコセンターを運営する「岩下産業株式会社」に入社。岩下産業株式会社では毎週1回早朝ボランティア活動を行なっている。店舗周辺の清掃とゴミ収集の活動。地域の方から「おはよう！朝から感心やね！」というお言葉を良くいただいたのを記憶している。また宮崎市が開催するイベントや祭り、花火大会の翌日にも必ずボランティア活動を行なうという「習慣」が根付いていた。地域の方々から「ありがとう！」というお言葉を頂くことが励みとなり、社員も率先して参加する傾向が年々増えていった。約8年間勤務したのち、私は個人事業として「おそうじ本舗宮崎中央店」を独立開業。ホテルマンの経験と清掃は好きであったが、思うように集客できない日々が続く。そんな中、私と妻は「今自分たちができる精一杯のことをお客様に提供しよう！」との思いで、ハウスクリーニングの依頼を受けた際は、何か一つプラスワンのサービスをしていくようにした。作業中トイレを借りれば、トイレ清掃をして帰るとか、頼まれていない箇所のちょっとした心遣いのサービスである。開業して今年で9年が経過し、地道な活動が実を結び今では一般家庭の

顧客数が3000名を越えるほどになった。先日開業以来のお付き合いをさせて頂いているお客様よりこういうお言葉を頂いた。「私は何故あなたたち夫婦におそうじを毎年頼むかわかる？最初はおそうじ下手だったよね。でもあなた達は一生懸命に掃除をしてくれて、尚克つ頼んでいないところまで、気を配りおそうじしてくれた。奉仕の心があったからだよ」と。今まで奉仕をしてきたという感覚は持っていなかった。ロータリークラブに入会させて頂き、ロータリークラブのホームを閲覧していたときの事。宮崎西ロータリークラブ第42代会長のお名前を拝見したときに、私は初めて自分が「奉仕」をお客様にしてきたことに気づいたのだった。何故なら第42代会長のお名前は「前蘭善彦」と記載されていたからです。前蘭会長は私が8年間お世話になった「岩下産業株式会社」の前蘭社長だったのです。私は岩下産業株式会社に勤務していたところに経験していた「ボランティア作業」を通して「奉仕の心」を持つようになり、独立して自分の顧客様へも「プラスワンサービス＝奉仕の心」を実践していたのです。前蘭社長の会社に入社して「奉仕の心」を学んでいなかったら、今会社経営をしている私は存在しなかったかも知れません。前蘭社長には心から感謝しています。今度は私も会社経営者として前蘭社長のように、社員と共に会社としての奉仕作業に取り組んでいく所存です。

■ 会員卓話 黒木洋子 会員

一人ひとりの“思い”が、世界を創る原動力！



今年、宮崎中央RCに入会させて頂き早くも13年目になりました。この間、いろいろなところでRCの“つながり”を感じ、大変有難く思っております。私が職業としているキャリアカウンセリングも、この“つながり”を大事にしておりますが、他者や社会との“つながり”もそうですが、何より大切なのは自分の“何か”とつながっているかどうか・・・だと考えております。自分の“何か”とは何か？ですが、わたくし達の専門用語でいうと「自己概念」という言葉で表現されているのですが、それは「生きるエネルギー」のようなものであり、「信念」のようなものです。

発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288  
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)  
会長/香川美穂子 副会長/三輪修珍・田中 寿 幹事/江藤敏治



昨年、わたくし達の資格が国家資格になり、働き方改革の中で注目を集め始めております。「自己概念」生きるエネルギーを自覚しながら、自分自身のスキルや能力をどのように高めていくのか、それは、自分の働き方や人生を「自分事」にいかしていくプロセスでもあります。驚くことに、いろいろな組織の方々とお話する中で感じるのは、自分の人生が（これは職業人生も含むのですが）人任せになっている方が多いなあと感じております。自分の人生を豊かに生きる実感は、やはり自分の生きるエネルギーを感じながら自分らしく生きていくプロセスの中にあるのではないのでしょうか？そういったお手伝いを、自分の職業を通して、これからもさせていただきたいと思っております。これからもご指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

**出席委員会報告**                      委員長 岡田圭史

◆4/6メイクアップ者名（敬称略）

黒木雄一、黒田健司、平松 寛、三輪修珍、  
湯浅敏幸、橋口 淳